

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

報 告 書

平成28年1月

常総市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検・評価の対象

平成26年度常総市教育運営方針に掲げる事務

3 点検及び評価の方法

- ①平成26年度常総市教育運営方針の重点目標に対する主な取り組み、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の総合的な評価を受けた。
- ②平成26年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員がその有効性を3段階で評価し、及び意見等を付した。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき，平成26年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので，次のとおり報告する。

平成27年12月22日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 廣 瀬 征 夫

平成26年度常総市教育運営方針

常総市では、合併後の平成20年に「健やかにひとを育み 緑豊かなまちづくりじょうそう」を将来都市像とした常総市総合計画を策定し、この度、本年度から5年間に取り組むべき基本方針として「常総市総合計画後期基本計画」を策定しました。市民の生涯を通じた学習活動の広がりにより、地域ぐるみでのまちづくりを支える人づくりや創造性豊かな明日を担う子どもたちの育成とともに、地域文化が育まれ、人と文化づくりを実感できる「豊かな人間性を育むまち」を目指します。

そのため、次の基本目標を掲げその実現に努めます。

◎ 基本目標

- 1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実
- 2 安全 安心 いきいき学ぶ 教育環境の整備
- 3 市民のための 進んで学ぶ生涯学習の推進
- 4 いきいき健康づくり 生涯スポーツの振興
- 5 読書教育の充実

1 学校教育を充実し、次世代を育てます

各幼稚園・学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開することで、幼児・児童・生徒が豊かな人間性や基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、個性を生かし、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むという学習指導要領の趣旨を踏まえる一方、常総市の課題解決に向けた教育や特色を生かした教育の実践を目指します。

◎重点目標

- ① 校舎等の耐震化を計画的に進めるとともに、施設の老朽化対策計画の策定並びに中学校の空調整備実施設計を行い、教育環境の整備を推進する。（学校教育課）

【主な取組、成果等】

○耐震化の推進

菅原小校舎の耐震補強工事を実施し、大生小校舎、大花羽小校舎の耐震補強実施設計業務を行った。

○絹西小学校の改修

児童数の増加に伴い、既存のグラウンドが非常に狭いため、用地を購入し、拡張するための実施設計業務を行った。

○中学校空調整備

近年の異常気象に対応するため、普通教室等に空調を設置するために、設計業務を行った。

○施設の老朽化対策

施設の長寿命化を図るため、大規模改造等を年次的に推進していくための計画を策定した。

- ② 学習指導要領等の内容を踏まえ、確かな学力を身に付けさせる指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備、拡充を図る。（指導課）

【主な取組、成果等】

- ・各小中学校の「学校改善プラン」を作成し、各校が課題改善に向けた取組とその検証方法を軸にして、授業改善・研修体制・保護者への働きかけなどの項目毎に焦点を絞った目標を掲げ、学校全体で学力向上に取り組む意識の向上を図った。
- ・全国学力・学習状況調査や学力診断テストから、実態の把握と分析結果を活用した改善策を授業や保護者への働きかけに反映させるよう指導した。
- ・学校訪問において、学校や学級の実態をふまえ、授業改善のポイントや実践例などを具体的に提示し、指導力の充実を図った。

- ③ 教科指導をはじめとしたICT活用の推進を図る。(指導課・学校教育課)

【主な取組, 成果等】

・学校訪問において, ICT活用事例を示したり, 具体的に機器の活用例を提示したりすることで教員の意識の向上を図った。各校における授業公開において教材提示装置やデジタル教科書提示など大型テレビ等を活用した授業展開が多くみられた。(平成27年度全国学力・学習状況調査における小学校質問紙において国語78.5%, 算数92.9%, 理科92.8%が利用していると回答)

・ICT活用研修を実施し, 教員のICT活用能力の向上を図った。

H26.4 校務支援システム研修

H26.8 市教育研究会と「コンピュータ研修講座」(学校ホームページ作成, 校務支援システム等)を開催

- ④ 公立幼稚園の統合に向けた具体的な検討を行う。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

常総市の幼稚園の今後のあり方について, 「常総市幼稚園のあり方検討会」を各幼稚園のPTA等と行った。その中で今後の市立幼稚園の再編・統合等の検討もふまえて協議を行った。

- ⑤ 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)を設置し, 学習につまづきがみられる児童に対して, 学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

【主な取組, 成果等】

児童の学習支援のみならず, 指導員が保護者から学習に関する相談を受け, 保護者から感謝の言葉が聞かれる。また, 保護者との面談から通室する児童の学習習慣が定着しつつある様子が見られる。また, ボランティアによる読み聞かせも実施し, 読書教育の推進も行っている。

- ⑥ 学校事務の共同実施を推進し, 学校運営を支援する。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

課内担当職員による教育予算についての研修等を行い, 学校教育予算についての配当や会計処理の説明を行った。

2 生涯を通じた学習活動を促進します

自ら進んで学ぶ生涯学習社会に呼応し、多様な学習機会と情報の提供、指導体制の充実を図り、自己実現に向けた市民の主体的な取組みを積極的に支援します。

また、各種文化事業やスポーツ事業の充実と活動組織の育成を図り、市民相互の交流を促進します。さらに、市民の誇りである貴重な有形無形の歴史文化遺産の適切な保全・継承に努めるとともに、情報発信と有効活用を進めます。

◎重点目標

- ① それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。

(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

前期講座（6月～11月）と後期（12月～3月）に分けて、教養講座（市民大学・文学, 歴史コース）短歌, 芸術（生花等）, 運動・健康講座（太極拳）癒し・生活講座（料理教室）などひとりひとりのライフスタイルや年齢, 興味に応じて学習センター・公民館等で講座を実施した。

各講座募集定員に対して応募人数が増えている。幅広い年齢の人々が参加し、講座によっては、参加者同士でサークル活動などを展開したり、学ぶことへの意欲が高まっている。

- ② 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全, 歴史的建造物, 資料等の利活用を推進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

常総市では文化的イベントとして「長塚節文学賞」を継続して開催・運営しており、26年度の長塚節文学賞では応募総数19,075点あまりに達し、応募は高い水準にある。同じく市イベントの篠山木挽き唄全国大会, 風土博物館坂野家住宅によるコンサートも増加傾向にあり、文化行事への関心は高まっていると考えられる。

- ③ 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携, 子ども会組織の円滑な運営を支援する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

青少年育成常総市民会議と青少年相談員の共催による少年の主張大会により広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力, 柔軟な発想力や想像力などを身につけた。

また、子ども会においても子どもまつり、サマーキャンプ等の開催により、人間社会で生きていくための様々なスキルを体得させることにより心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

- ④ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し、総合型地域スポーツクラブの設立を支援する。

(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

現在、設立されている総合型地域スポーツクラブである「常総スポーツクラブ」の活動を支援しており、主な支援活動は、施設の確保、事業広報、スポーツ教室の委託を実施している。幼児から高齢者まで手軽に参加できるスポーツ活動が中心となっているため会員数も高齢者を中心に増加傾向となっている。

- 総合型地域スポーツクラブ「常総スポーツクラブ」への活動支援実績

「活動施設の確保」

- ・五箇小学校校庭（小学生対象の陸上教室）
- ・五箇小学校体育館（未就学園児キッズサッカー教室）
- ・大花羽小学校体育館（市内、近隣の小学生を対象としたフットサル教室）
- ・水海道総合体育館（一般社会人から高齢者までのショートテニス教室）
- きぬ総合公園内（一般社会人から高齢者までのスロージョギング教室）
- ・石下総合運動公園（ジュニアマラソン教室、スロージョギング教室）

「活動事業の広報支援」

- ・常総スポーツクラブ主催のスポーツ教室及びスポーツ大会開催のお知らせ
お知らせ版及び常総市ホームページへの掲載
(3月号・5月号・8月号・10月号・1月号)に掲載
- ・スポーツ教室委託事業
一般を対象としたウォーキング教室を開催
委託費 10日間 100,000円(9月～11月に開催 11名参加)

- ⑤ スポーツをとおしてふれあい、市民相互の交流活動を促進する魅力あるスポーツ体験イベントを開催する。(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

- 平成26年度 親子 de いきいきスポーツフェスタの開催

- ・期 日 平成26年11月24日(月)
- ・場 所 石下総合運動公園内 各スポーツ施設
- ・趣 旨 市民が様々なスポーツを体験することで、心身ともに健康に暮らせる社会づくり及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

また、親子マラソン、親子 de チャレンジ、各種スポーツ教室へ参加する事により、「親と子の絆」「地域の絆」を深め、スポーツを通して世代間の交流及び青少年の健全育成を図る。そして、地域のスポーツ団体（体育協会専門部、高等学校）との交流により、地域スポーツの普及と発展に貢献する。

- ・内 容 ①親子ふれあいマラソン（2km, 1km）277組（554人）
未就学児童及び園児から小学1年生から4年生の親子
- ②いきいきマラソン（3km） 82名
- ③親子 de チャレンジコーナー
（ゲーム形式のスポーツ体験）450名
- ④各種スポーツ教室
 - ・ハンドボール教室（全日本選手による指導）37名
 - ・陸上教室（水海道第一高等学校陸上部による指導）21名
 - ・硬式テニス教室（体育協会専門部による指導）21名
 - ・親子バドミントン教室（体育協会専門部による指導）13組
 - ・親子卓球教室（体育協会専門部による指導）8組
 - ・親子ピクス教室（スポーツ推進員による指導）
 - ・トランポリン体験（スポーツ少年団による指導）
- ⑤体力測定（スポーツ推進員）50名
- ⑥健康運動相談（スポーツドクター）30名
生活習慣病予防などの健康相談コーナーを設置
- ・参加人数 参加者及び運営係員総数 1500人

※開催から6年目となり常総市を代表するスポーツイベントとして、広く市民に知られるようになった。特に親子ふれあいマラソンは年々参加者が増加傾向になっており、市外からの参加希望も増えるなど地域の活性化へ大きく貢献するイベントとして評価できる。また運営についても、市内スポーツ団体の体育協会専門部やスポーツ推進委員、スポーツ少年団と大勢の協力が得られ、地域の固い結束と活性化が図られていると思われる。

総合評価

1 「学校教育を充実し、次世代を育てる」ことについて

- 安全安心な教育環境を目指して行われた耐震化の推進，東日本大震災の被災校復旧並びに絹西小学校の敷地拡張，空調整備等，計画的に教育環境の充実が図られており，評価できる。
今後も危険箇所，老朽箇所の点検・修繕をはじめとした学校施設の整備を継続的，計画的に進められたい。
- 学校改善プラン，学力診断テストの有効活用，計画訪問以外の学校訪問等を積極的に行い，教員の指導力の向上，充実を図られたい。
- 時代の要求であるICT活用リテラシーの向上に積極的に取り組まれたい。
- 幼稚園の統合再編に関しては，「幼稚園あり方検討会」を積極的に活用し，保護者の意見の尊重を願う。
- 常総ほっとサタデー教室の関心度が高くなってきている。教科のつまずきが生活の乱れにつながる傾向がある。学習支援の重要性を感じる。継続，拡充を望む。
- 多くの学校では，事務職員は少人数である。ややもすると孤独になることの心配がある。学校運営の事務的な支援だけでなくメンタルな支援対策も検討が必要である。

2 「生涯を通じた学習活動を促進する」ことについて

- 高齢化に伴い人それぞれ多様なライフスタイルがある。人は生涯にわたって学ぶ楽しさの機会を求めている。学ぶ環境を整えることは行政の責務の一つであり，さらなる充実を願う。
- 市民の自主的な文化・芸術活動を物心両面から積極的な支援を望む。文化的なイベントのさらなる充実を期待したい。長塚節文学賞の注目度は全国レベルに高まっており，益々の発展を期待する。
- 関心度の高い「少年の主張大会」は，青少年の幅広い視野，論理的な思考力，創造力等を養うのに絶好の機会であり，継続と充実を望む。
- 近隣の間人間関係が希薄化している現代，スポーツを通して市民のふれあい，交流活動の重要性がますます増大してきている。魅力あるスポーツイベントの開催，人間的に魅力ある指導者の発掘に努められたい。

<項目別点検及び評価>

達成度	計画又は目標を	有効性	
○	達成又は概ね達成	◎	成果がある
△	及ばず	○	一定の成果がある
×	実施できず	×	成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1-(1) 学校教育の充実						
①就学前教育の充実						
	教育環境の整備	園児の安全を第一に老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：25件 工事費：2,887千円	△	再編・統合計画の進捗を見極め、改築計画を検討していく。	○	・統廃合等の再編計画を考慮して、園児の安全が維持できるよう安全第一で整備に取り組んでいただきたい。 ・「幼稚園のあり方検討会」を有効に活用し、保護者等の意見を尊重した施設整備に努めていただきたい。
	幼稚園・保育所の一元化の研究	幼稚園施設の老朽化や園児数の減少等を踏まえ、公立幼稚園のあり方について検討中。	△	園児数の推移や地域のニーズも確認しながら、施設のあり方を検討する。	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②学校教育環境の整備	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化の推進 校舎実施設計 大生小, 大花羽小 設計費：7,560千円 校舎耐震補強工事 菅原小 工事費等：153,404千円 ・児童数の増加等に対応した絹西小学校の敷地拡張 用地購入：14,000千円 実施設計等：14,451千円 ・屋内運動場の漏水等解消 大生小 設計監理：2,171千円 工事費：17,010千円 				<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化, 老朽化対策には優先的に取り組むことが必要である。学校は, 安全, 安心が第一であり, 施設の長寿命化を目指した取り組みを推進していただきたい。 ・近年の異常な猛暑が常態化しており, 児童, 生徒の健康の維持, 授業環境改善のため, 空調設備の整備は必要である。
	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 鬼怒中 実施設計：1,296千円 工事費：14,000千円 ・特定天井等落下防止対策調査設計 屋内運動場（小14校・中4校） 石下西中除く 武道場（中5校） 設計費：21,557千円 ・施設の長寿命化を目的とした計画策定 老朽化対策マスタープラン策定業務 小・中全校：9,845千円 ・被災した石下西中学校校舎等の建設推進 石下西中建設工事 外構工事等：130,987千円 ・近年の厳しい気候のためよりよい学習環境を充実するための工事を推進する。 空調機器設置実施設計業務 （水海道中・鬼怒中・石下中の3校分） 6,156千円 	○		◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	教育環境の充実	一般備品（図書含）：小学校 37,476千円 中学校： 6,488千円 教材備品：小学校 10,386千円 中学校： 6,331千円	○	現行どおり継続する。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境や備品の充実に引き続き取り組んでいただきたい。 ・交通事故防止には、「ヒヤリハット地図（交通事故危険箇所地図）」が有効であり、その更新、周知徹底が必要である。
		原子力・エネルギー教育支援事業補助金による備品購入1,753,228円	○	継続	◎	
		学校情報通信センターシステム，校務支援システムの運用により，学校情報化及び教職員の業務の軽量化を図った。 ・センターシステム運用経費：18,147千円 ・校務支援システム運用経費：2,646千円	○	老朽化した情報機器を計画的に更新していく。	◎	
学校の安全対策強化	危険箇所及び老朽化した施設の修繕を優先的に実施した。 工事件数：小学校219件，中学校54件 工事費 小学校32,343千円，中学校16,352千円	○	修繕予算の確保に努めるとともに，長寿命化計画を策定し，それに準じた校舎等の改修を推進していく。	◎		
通学環境の整備	常総市通学路安全推進会議を各関係者と開催をした。その中で「常総市通学路交通安全プログラム」を策定し，通学路の安全確保等について協議をした。	○	現行どおり継続する。	◎		
	地域と連携する学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価の実施 ・地域人材の活用及び職場体験等の実施 ・各校HPに地域自慢の掲載 等を推進 	○	継続	◎	
③学校教育内容の充実						<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事は，優れた専門的識見を有し，人間性豊かに適切な訪問指導を積み重ねている。今後も引き続き対応願いたい。 ・教育界を取り巻く状況を考慮して加配講師，補助員，支援員の配置など個に応じた市独自の取り組みを評価する。
	新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の学校活性化加配講師，教育補助員，外国人児童生徒支援員の配置 ・少人数指導や習熟度別指導などによる「個に応じた指導」を实践 ・適応指導教室と学校との連携強化 ・不登校児童生徒の解消に向けた取組 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	体験的地域学習の展開	・中学生議会の開催 ・体験学習の充実 ・討議する活動や問題解決的な学習の推進	○	継続	◎	・悩みの多い事務職員のフォローを積極的に行い、孤独に陥らないような職場が必要である。
	高度情報化への対応	学校情報通信センターシステムを運用するとともに、学校訪問等を通してICT活用事例を示し、情報教育の推進を図った。	○	学校ICT推進委員会での議論等を踏まえ、学校現場と連携して教育の情報化を推進していく。	◎	
	交流教育・国際理解教育の推進	ALTの活用による幼稚園からの英語活動の充実（ALTと英語で遊ぼう」の実施等）	○	継続	◎	
	特別支援教育の充実	個の教育的ニーズに応える教育支援	△	継続	○	
	教職員の育成	・要請訪問等での授業公開 ・JOSO若手教員ア카데미(研修会)の拡充 ・学力向上プロジェクト事業による各学校の学習指導の改善	△	継続	○	
	学校事務の共同実施	教育予算についての研修等を行い、学校教育予算の配当や会計処理について理解を図った。	△	学校と連携して、学校事務共同実施の推進をしていく。	○	
④健康な児童生徒の育成						
	基礎学力の向上	常総ほっとサタデー教室の開室	○	継続	◎	・生命尊重を第一に、地震、火災、交通事故等から身を守る安全教育を徹底する。 ・本県は体力テストの結果から見て体力が向上している。体育的行事の奨励、運動部活動の推進を希望する。
	安全教育の充実	発達段階に応じた避難訓練の実施	○	継続	◎	
	教育相談の充実	児童生徒のカウンセリング対応の充実	○	継続	◎	
	体力向上及び健康管理の強化	・体育的行事の奨励 ・運動部活動の充実と効果的な指導	△	継続	○	
	基本的な生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 ・あいさつ運動や読書活動等による基本的な生活習慣の定着	○	継続	◎	
⑤食育の推進						
	学校給食の充実	地産地消の推進による常総市産食材52%活用や栄養バランスのとれた安全、安心及び喜ばれる給食を年間193回実施した。	○	現行どおり	◎	現在、食生活が不十分で乱れている家庭が少なくない。常総市の給食は、健全な成長の基盤となるバランスのある給食を提供していて、子どもの正常な成長に多大な貢献をしている。
	学校・家庭・地域との連携	年間計画のもと、料理ふれあい体験や、学校栄養職員による給食の時間等での食に関する指導をした。	○	現行どおり	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1-(2) 高校・高等教育の充実						
①高等学校の特色化						
	地域活動との連携	生徒指導中学校区委員会における高等学校や地域社会との連携強化	○	継続	◎	地元の高校との連携を積極的に進めていただきたい。
	高等教育機関等との連携	地域の高等学校が主催する弁論大会における中学生の積極的な参加	○	継続	◎	
②幼稚園・小学校・中学校・高等学校の連携						
	連携した事業の取組	・県の事業「学びの広場サポートプラン」(小学校)へ学生ボランティアの派遣 ・「みんないっしょにマナーアップ推進事業」への連携した取組み	△	継続	○	幼小中高と地元関係機関との連携は、児童・生徒の実態を把握するうえで有効である。
	協力して進める行事等	学校行事等での積極的な交流	△	継続	○	
2-(1) 生涯学習の充実						
①生涯学習推進体制の整備						
	推進組織づくり	諸団体の活動支援と指導者の発掘・育成が図れていない。	△	引続き活動支援と人材発掘・育成に努める。	○	指導者の発掘に努め、高齢化に対応する組織の活性化に努めていただきたい。
	学習情報の提供	広報誌や市HPによる案内のほか、全戸にチラシ配布し、講座開設のPRに努めた。	○	引続き実施する。	◎	
②学習施設の充実						
	学習施設の機能充実	アスベスト除去工事のほか給水ポンプ・自動ドア修繕等を実施。 工事：1件 事業費：4,212千円 修繕：54件 事業費：7,207千円	○	現行どおり	◎	より快適な施設の充実を望む。
	施設の有効利用	各種講座・イベント・企業や団体等の研修利用の実施	○	引続き実施する。	◎	
③学習活動の支援						
	学習プログラムの提供	各種講座・教室の開催・市民大学事業開催・学習プログラム・企画・学習機会の提供の開催実施 ・歴史コース・文化コースなどの学習プログラム開催実施	○	受講者等のアンケート結果を反映した講座の開催を図る。	◎	・講座のマンネリ化が指摘されるが、内容、開催方法等の再考が必要であろう。 ・「星野富弘花の詩画展」は好評であった。自主企画展の継続を望む。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	自主企画の推進	生涯学習自主事業 期日：平成26年8月1日～10日 場所：生涯学習センター 内容：星野富弘花の詩画展	○	自主企画事業の計画的な開催を図る。	◎	
	地域課題対応の活動推進	家庭教育学級の開催 市内19校全校で開催	○	引続き実施する。	◎	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館の自主事業の開催	○	引続き実施する。	◎	
④図書館活動の推進						
	図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中の月曜日開館 開館時間や休館日の見直しによる利用者へのサービスの提供 出前講座等による図書館活動の拡張 ※7.16以降は休館により未実施 市民のニーズに応え資料の充実を図った。 蔵書数 図書142,405冊 視聴覚資料12,557点 26年度資料購入費10,787千円	×	現行どおり	×	・アスベスト除去工事のため、長期間閉館せざるを得なかったが、夏休み期間の月曜日開館、市民ニーズの資料の充実、読み聞かせの充実、ブックスタートの実施、小中学校への配本、子ども文庫等との連携等様々なサービスを展開しており、引き続きその継続、充実を望む。
		Webによる予約数 図書373件、雑誌11件、CD78件。 いずれも前年を下回っているが、7.16以降は休館のため	△	Web利用者は通年開館なら、今後も増加の傾向が見込まれる。	○	
		学校、幼稚園、保育所及び学童保育への読み聞かせボランティアを派遣した。 25施設、164回実施、参加者4,314名	○	現行どおり	◎	
		保健推進課で実施する12か月児健診の際、ブックスタートを実施している。 参加者 417人 絵本・イラスト・DVD集代 219千円	○	絵本を通して親子の触れ合いを普及している。乳児の頃からの図書館利用にもつながる	◎	
		小中学校の学校図書館への配本。 図書館で所蔵する本を、読書教育の充実を図ることを目的に、H26、H27年で全校へ配本。500冊～1,000冊/校（生徒・児童数による）	△	今後も小中学校に対し計画的に書籍を配本する。	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		学校図書館整理事務員の研修会を実施 8/26	○	改善 学校により状況 が異なるため、 個々の相談に応 じる。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「よむよむパック」など特色ある自主事業を実施しているが、さらなる充実を期待する。 ・新たに坂東市の図書館と協定を結び、図書館の広域利用が進んでいるが、今後さらなる拡充を望む。
		自主事業の充実 よむよむパック 5/3 15名 バルーンアート 5/6 40名 レレコスモスコンサート 6/29 45名 ※7.16以降は休館のため未実施	△	自主事業については、図書館のPRも含めて、今後も実施	○	
	図書館サービス網の強化	読書団体、子ども文庫等と連携した団体貸出の活動強化 「小中学校のための常総市立図書館活用のご案内」の活用による市立図書館の利用促進 ※7.16以降は休館のため	△	現行どおり	○	
		図書館HPの充実 図書館利用のPR、イベントポスター・パンフレットの作成配布 ※7.16以降は休館のため	△	HPについては、イベントPRも含めて再考する。	○	
		近隣市町村の広域間の利用の実現 休館中、坂東市と新たに協定を結んだ。	○	近隣市町村との協議が必要	◎	
		雑誌スポンサー制度による雑誌の充実 ※7.16以降は休館のため未実施	×	現行どおり	×	
	図書館施設機能の充実	空気調和設備、照明等の大規模改修 サーバー室エアコン交換 館内LED照明に交換 エレベータ改修	○	現行どおり	◎	
		書架の増設に伴う資料の充実 一般書架、児童室への増設	○	拡大	◎	
		視聴覚室・集会室等の学習室としての開放 土日、祝日は開放した。 ※7/16以降は休館	△	現行どおり。予約がない限り開放	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(2)	スポーツの振興					
	①スポーツ施設の有効利用					
	スポーツ施設の整備・充実	○水海道総合体育館		施設の老朽化に伴い、利用者の安全に考慮し、改修、修繕を継続しスポーツ環境の充実に努める。		
		ランニングマシン修繕 205,200円	○		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の耐震化は最優先である。また、継続的、計画的に点検、修繕を行い、利用者の安全を守っていただきたい。 ・市民のニーズに対応して積極的に施設を開放し、市民スポーツの振興を図っていただきたい。 ・指定管理者制度を有効に活用し、市民スポーツの振興及びサービスの向上を図っていただきたい。
		浄化槽調整修繕 614,520円	○		◎	
		放送設備修繕 299,160円	○		◎	
		消防設備修繕 849,981円	○		◎	
		エアコン交換工事（審判控え室）297,000円	○		◎	
		ランプ交換工事 93,960円	○		◎	
		○石下総合体育館				
		消防設備修繕 718,005円	○		◎	
		○石下テニスコート				
		テニスネット交換 97,200円	○		◎	
		テニスコート部分修繕 130,993円	○		◎	
		○水海道球場				
		浄化槽フロート交換修繕 64,800円	○		◎	
		集草機修繕 299,700円	○		◎	
		1塁側フェンス外漏水修繕 93,744円	○		◎	
	スポーツ施設の整備・充実	消防設備修繕 124,254円	○		◎	
		混合土補充（年2回） 248,373円	○		◎	
		○石下球場				
		トイレ修理 45,360円	○		◎	
		アンツーカー整備（委託料として）248,373円	○		◎	
		アンツーカー土補充 118,800円	○		◎	
		○きぬ温水プール				
		高圧ケーブル交換修繕 2,116,800円	○		◎	
		循環ポンプ交換修繕 206,280円	○		◎	
		ろ過機修繕 41,040円	○		◎	
		フレキシブルメタルホース交換修繕 60,480円	○		◎	
		洗体槽給湯管漏水修繕 140,400円	○		◎	
		安全弁交換修繕 96,768円	○		◎	
		消防設備修繕 94,770円	○		◎	
		トランス及びコンデンサ交換工事 3,500,000円	○		◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		○吉野サン・ビレッジ 浄化槽送風機交換修繕 299,160円	○		◎	
		○三妻プール ろ過機修繕 98,280円	○		◎	
	学校体育施設の開放	○学校開放施設 ・小学校 14校 ・中学校 5校 ○使用時間 ・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 平日 18時～22時(大生小, 飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時(大生小, 飯沼小は22時まで) ・中学校体育館, 武道場 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 土日祝 8時～17時 ○使用団体数 93団体 ○使用人数 ・体育館 66,325人 ・校庭 12,461人 ・武道場 11,382人 ○管理人賃金 鍵貸出日1日あたり600円	○	市民のスポーツ活動の場の拡大に努める。	◎	
	施設管理・運営体制の充実	○水海道総合体育館へスポーツ振興係が従事。正職員4名, 臨時職員2名を配置した。 ※臨時職員1名は, 証明書発行用務に伴う増員 ○石下総合体育館に管理係が従事。正職員5名, 再任用職員1名, 臨時職員2名を配置した。	○	指定管理制度の導入による施設管理の充実並びに市民サービスの向上を図る。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②指導者・活動団体への支援	指導者への支援と確保	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員の委嘱(20名) 報酬 @30,000円×20名=600,000円 ・スポーツフェスタ係員及びスポーツ教室への指導協力 14人 ○スポーツ少年団への指導者養成会参加 ・スポーツリーダー養成兼日本スポーツ少年団認定員養成講習会への参加(29名) ○スポーツ教室での指導者確保 ・柔剣道教室(体育協会石下柔道部・石下剣友会指導者) ・太極拳教室(体育協会太極拳部) ・硬式テニス教室(体育協会テニス部) ・卓球教室(体育協会卓球部) ・ウォーキング教室(常総スポーツクラブ) 	○	市内各種スポーツ団体へ、国及び県からの指導者養成講習会や指導者研修会の情報を積極的に提供していく。更に、主催するスポーツ教室において、市内スポーツ団体会員を指導者として依頼し、地域の人的資源を有効に活用するとともに、地域のスポーツ団体の活性化につなげる。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・各種のスポーツ教室にも高齢化の波が押し寄せているが、市民のニーズに対応し、スポーツの普及、健康増進に継続して努めいただきたい。 ・各種スポーツ団体の主催大会の充実に向け、企画面並びに運営面での支援を実施していただきたい。
	活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○体育協会並びにスポーツ少年団の事務局を課内に置き、加盟する各種スポーツ団体や会員の交流や自主事業の充実を図る。また、団体運営のための補助金申請を行う。 【補助金交付額】 ①体育協会 1,899,000円 ②スポーツ少年団 877,000円 	○	スポーツ団体の事務局として、上部団体(日本体育協会、茨城県体育協会)等の情報を周知するとともに、連携を密にし、加盟するスポーツ団体への支援を実施しながら、主催大会の充実に向け企画、運営を支援してい	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	総合型地域スポーツクラブへの支援	○活動事業の広報支援 【お知らせ版への掲載】※主催事業の募集 ○スポーツ事業の委託 【ウォーキング教室開催委託費100,000円】	○	活動場所を確保するとともに、活動状況を広く市民に知らせ、会員の拡大と事業の充実を支援していく。	◎	
③	スポーツ活動の促進					・平成31年度開催の国体を成功させていただきたい。 ・「親子deいきいきスポーツ体験フェスタ」は、親子のふれあいや青少年の健全育成だけでなく、スポーツ体験による健康に暮らせる社会づくりや地域の活性化にも貢献しており、さらなる充実を期待する。
	生涯スポーツの普及	○各種スポーツ教室の開催 【スポーツ推進・普及分野】 ①柔剣道教室 ②ジュニアハンドボール教室 ③レディースゴルフ教室 ④ジュニアゴルフ教室 ⑤硬式テニス教室 ⑥卓球教室 ⑦ジュニアスキー教室 【健康推進分野】 ①健康水泳教室(昼の部) ②健康水泳教室(夜の部) ③アクアビクス教室 ④太極拳教室 ⑤シェイプアップ教室 ⑥ウォーキング教室 ※募集定員1610人に対し応募者数966人 ニーズ度 60% ※事業経費 1,196,500円	○	教室により、人気度に格差が生じ始めているため、市民のニーズに対応し、新たな種目の導入も検討しながら、内容の充実にも努め継続していく。	◎	
	スポーツイベントの開催	○平成26年度親子deいきいきスポーツ体験フェスタの開催 ※事業経費 1,218,692円 ※参加者数 約1,500人	○	市を代表するスポーツイベントとして定着しており、新たなスポーツの種目を導入するなどの検討をしながら継続していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	自主企画の推進	○市内各種スポーツ団体への活動補助金申請受付（24団体） 823,000円	○	市内各種スポーツ団体の自主活動の活性化と充実のため継続していく。	◎	
	競技スポーツの振興	○国体記念茨城県中学校ハンドボール大会 ※参加校 男子17校 女子14校 合計31校 ※事業費 431,400円 (内 市負担分 296,500円) 審判謝礼10,000円 表彰費250,000円 消耗品費36,500円	○	平成31年度開催の国民体育大会におけるハンドボール開催地として、大会の更なる充実と競技力の向上を視野に入れ継続していく。	◎	

2-(3) 地域文化の醸成						
①地域文化振興体制の充実						
	文化芸術振興計画の策定	文化芸術振興審議会開催と意見案などの作成を行う。市からの答申を待つ形になる。	○	引き続き組織維持と会員数増加に努める	◎	文化芸術振興審議会の有効活用を願う。
②地域文化活動の推進						
	文化事業の推進	市民文化祭・長塚節文学賞・篠山木挽き歌の開催	△	市民文化祭などは高齢化により衰退傾向	○	市民文化祭、長塚節文学賞、篠山木挽き歌等市イベントのさらなる充実を期待する。
	地域文化情報の発信	文化協会報の発行や、地域文化団体広報の支援等を実施	○	情報の充実を引き続き目指す。	◎	
③郷土遺産の保全と継承						
	郷土遺産の調査・保護の充実	鴻野山地区にて土地改良に伴う発掘調査事業を実施 27年度も継続して行う	○	継続して発掘業務実施	◎	鴻野山地区の発掘で出土した遺物については、展示など市民への積極的な公開を望む。
	歴史文化等資料の整備と情報提供	千姫祭りなどにおいての史料展示などを実施	○	継続予定	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2-(4) 青少年の育成						
①青少年育成推進体制の強化						
	関係機関・関係団体との連携	茨城県及び公益社団法人茨城県青少年育成協会との連携を図り推進した。	○	引続き連携を図る。	◎	・多様化した問題行動への対応に 関係機関の連携は必要不可欠 である。 ・石下地区の育成会議の組織化 が必要である。
	育成組織の強化	青少年育成常総市民会議の石下地区における支部の未設立	×	石下地区での支部の設立推進を図る。	×	
②青少年育成活動の推進						
	学校・家庭・地域との連携	放課後子ども教室の開催 市内14小学校内12校で開催	○	全小学校での開催を目指す。	◎	高校生リーダーズの活用は効果 があるため、積極的に推進すべ きである。
	活動企画の充実	ふれあいサマーキャンプの実施及び高校生リーダーズの指導活動の推進 ○ふれあいサマーキャンプ 平成26年8月24日～26日 場所：国立磐梯青少年交流の家(福島県) 参加者：36人 ○ふるさとの秋まつりへの参加 平成26年10月19日 場所：あすなろの里	○	引続き企画の充実を図る。	◎	
	地域環境の改善	青少年相談員会による街頭指導活動や青少年育成常総市民会議各支部によるあいさつ声かけ運動の実施及び通学路の安全点検	○	定期的な街頭指導活動や市一体となったあいさつ声かけ運動の実施	◎	